

日本文化研究(演劇)Ⅱ

科目ナンバリング ARL-202
選択 2単位

小泉 優莉菜

1. 授業の概要(ねらい)

世界の演劇文化の中の、日本の演劇について学びます。本講義では、音楽や舞踊といった、演劇の様々な側面を理解します。数回は記録映画を鑑賞するほか、実演家等の外部講師をお招きすることがあります(詳細につきましては授業中にお知らせします)。

2. 授業の到達目標

日本芸能史について理解した上で、他の人に対して説明ができることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、平常点(20%)を合わせて評価します。期末試験は、ノート等の持ち込みを可能とした記述形式の試験を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを用意します。

参考文献

授業の時に紹介します。

5. 準備学修の内容

日本の演劇に限らず、さまざまな舞台芸術についてできるだけ触れて下さい。

6. その他履修上の注意事項

積極的な態度で出席して下さい。わからないことがあれば質問して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 日本の演劇概説①(前期:日本文化研究(演劇)Ⅰの振り返り)
- 【第3回】 日本の演劇概説②(前期:日本文化研究(演劇)Ⅰの振り返り)
- 【第4回】 沖縄の芸能
- 【第5回】 信じることと演じること(宗教と演劇)
- 【第6回】 演劇を伝承すること(民俗芸能)
- 【第7回】 社会と演劇
- 【第8回】 演劇の様々な発展
- 【第9回】 演劇の中での「変身」
- 【第10回】 演劇のミメシスと記号
- 【第11回】 日本の演劇の2つのタイプ
- 【第12回】 演じることと生きること
- 【第13回】 演劇とサブカルチャー
- 【第14回】 現代における演劇の文化
- 【第15回】 まとめ(試験)